

大腸がんはどんな病気？



大腸がんは大腸(結腸・直腸)に発生するがんで、日本人ではS状結腸と直腸にできやすいといわれています。

早期は無症状ですが、進行すると以下の症状が出ることがあります。

- ①血便
- ②便秘・下痢といった排便習慣の変化
- ③便が細くなる
- ④残便感
- ⑤腹痛、嘔吐



がん死亡原因の
女性1位
男性2位

早期ではほとんど
自覚症状が
ありません

早期発見・
早期治療で
95%以上の人
が治ります

受けよう大腸がん検診



大腸がんの検査(便潜血検査)は目に見えない微量な血液を調べる検査です。正しい検査をするために便のいろいろな所をまんべんなくこすりとり適量を提出してください。

検査で陽性が出たら必ず精密検査を受けよう！

大腸がん検診で陽性が出たら、原因確認のため必ず精密検査を受けてください。痔のせいだと自己判断したり、次回の検査も陽性になったら受けようなど検査を先延ばしするのは危険です。早期発見のためにもすぐに検査を受けましょう。

※精密検査には費用補助があります。詳しくは[こちら](#)



連絡先⇒

大王製紙健康保険組合 健康管理課 担当:角川・加地・井川
☎0896-24-5051自動音声①✉ ara012@daigroup.com